

第8回放射線災害時のスクリーニング作業の実際について（実践講習会）

主催 横須賀三浦原子力災害特別派遣チーム
共催 (社)神奈川県放射線技師会災害対策委員会
神奈川県放射線管理士部会

本年度も標記「実践スクリーニング講習会」を、神奈川県放射線技師会災害対策委員会、神奈川県放射線管理士部会の協力を得まして、下記により開催いたします。

東日本大震災によって引き起こされた福島第1原子力発電所の事故は未曾有の被害をもたらし、多くの診療放射線技師がサーベイラーとして被災地派遣を中心に活躍しております。神奈川県から多くの仲間が被災地に派遣され、本講習会推奨のセグメント法を実践し、また、これまでの学術総合大会や数々の講演会などでもセグメント法が評価されました。また、被災地の方々も市民の不安を取り除く意味でも、我々診療放射線技師に対し、放射線のプロフェッショナルとしての認識もされており、今後とも本講習会を維持継続し市民の期待にも応えていきたい所存であります。

我々診療放射線技師にとって、日々の業務のほかに、定期的な自然放射線の測定と緊急時のスクリーニング活動に備える事、また市民の不安を取り除くために的確な説明の準備を怠らない事など、活動の重要度は増したと認識しております。そこで今回は初めての試みとして、この災害を通して我々診療放射線技師の誰もが直面したであろうと考えられる、市民から説明を求められたときの対処、さらには心のケアといったものにも焦点を当て、参加者の全員で考えてみたいと思います。そして講習会の後半には、例年通りセグメント法を使用したスクリーニング実習を行います。

つきましては、御多用な折、誠に恐縮ですが、診療放射線技師の皆様のご参加をお願い申し上げます。

記

日時：平成25年1月12日（土）15：00～

場所：横須賀共済病院5階講堂

参加費：無料

受付開始：14：30

プログラム

1部：15：00～16：00

司会：沼田 恭一（横須賀共済病院）

『原子力災害に関わるカウンセリングについて』

「カウンセリングの基礎」 臨床心理士 近藤 喜弘（桐蔭横浜大学講師）

「原子力災時の市民に対する心のケアについて考える」

神奈川県放射線管理士部会 吉田 篤史（川崎市立多摩病院）

2部：16：10～17：00

司会：濱田 順爾（横須賀共済病院）

『原子力災害に関わる市民からの質問にどう答えるのか？』

机上訓練

* グループワーク。設問に対する回答を考える。グループごとにそれぞれ複数設問に回答する設定。

グループ発表

3部：17：10～18：00

『セグメント法実践講習』

サーベイメータの取り扱い方

田島 尚人（横須賀市立市民病院）

セグメント法実践演習

相ヶ瀬 あゆ子（横須賀共済病院）

以上

ご注意

上記のプログラムは変更されることがあります。横須賀三浦放射線技師会 WebSite (<http://ymart.jp/>) 上での記載が最新版となります。ご確認・ご了承のほどお願いいたします。

参加資格に特別の制限はありません。神奈川県外の方、医療従事者以外の方でも受講できます。

主催側で数台のサーベイメータを用意いたします。

メール（所属施設名、氏名の記載を必須とさせていただきます）にて事前申し込みをお願いいたします。

締め切りは1月7日（月）

申し込み先、問い合わせ先 NASチーム mail: nas.hibaku001@ymart.jp